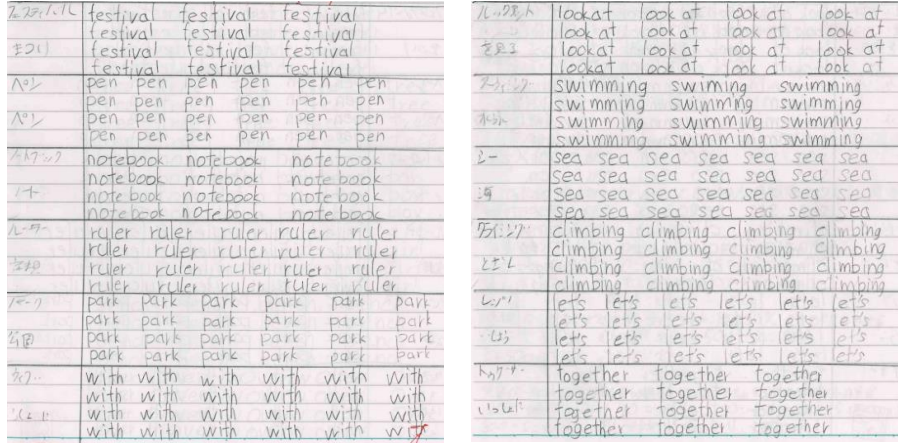


劇的な変化と「にしの日」あいさつ運動

今日は、2つの話題を紹介します。

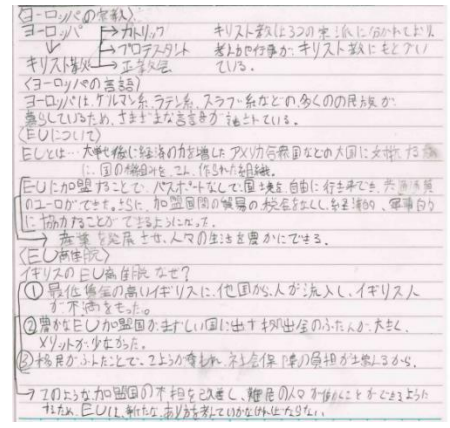
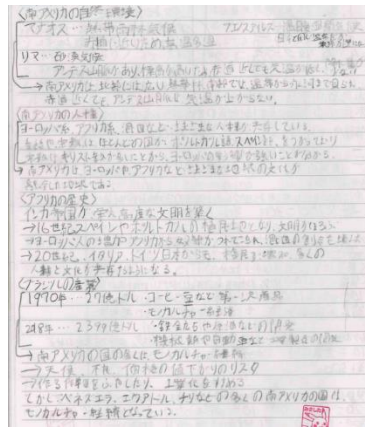
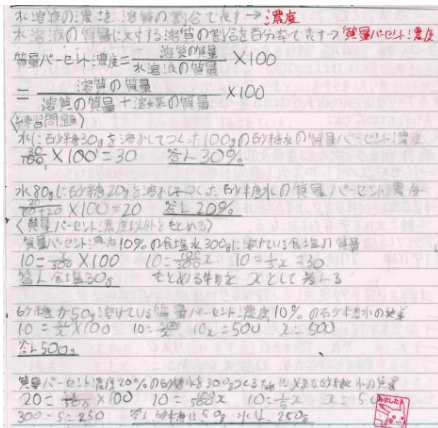
まずは、『**とてもすごい生徒**』についてです。1年生のあるクラスで自学ノートを何気なく見ていました。その生徒は、毎日、英単語を書いて提出していました。その一例が下の写真です。



一見、勉強しているようにも見えますが、毎日これが続くとなると、本当に意味のある勉強をしているかどうか疑問です。実際にこのような自学ノートを提出している生徒が全校にも少しいます。「提出のための自学ノート」「手の運動となっている自学ノート」を提出している生徒がおり、その現状からの脱却が学校としての課題です。

この生徒に話を戻します。私とこの生徒の間で、勉強について話をしました。最後に「明日も自学ノートを見せてもらうね」と言い、その教室を出ました。

その翌日と翌々日の自学ノートが以下のものです。



いかがでしょうか。劇的な変化が見られます！左と中央は土日の学習分です。左の計算は、予習の内容だそうです。計算式を見ると、よく考えて計算をしている様子がうかがえます。また、中央と右は、社会です。授業後のノートを写すだけでなく、自分なりに考えてまとめて書いています。どちらも、とても素晴らしいノートです。劇的な変化が見られます。やればできる**素敵な生徒**です。私たちは、子ども達の力を引き出す努力をもっとしなければならぬと感じました。

今日、24日は「にしの日」です。今年は、カレンダー上、24日が平日になっている日は少なくなっています。5月に感染症対策が変わり、太宰府西中学校ブロックでは、3校でのあいさつ運動が復活することとなりました。太宰府西中学校の生徒は、4年ぶりに太宰府西小学校と水城西小学校に行き、あいさつ運動をすることとなりました。

生徒会執行部と1,2年生の学級委員、学習委員が、西中と2小学校に分かれ、あいさつ運動を実施しました。

登校してきた小学生は不思議そうにあいさつをしたり、じーっと見つめていたり、可愛らしく元気にあいさつを返してくれたりしました。中学生は、堂々として立ち姿で、こちらでも元気よくあいさつをしました。

横で見ていてとても「いいな」と思える様子でした。中学生は、「お兄さん・お姉さん」としての自覚が芽生えます。小学生は、「自分も将来、中学生になったら、こんな風になりたい」という目標ができます。お互いにとってプラスとなる活動です。

今年の「にしの日」のあいさつ運動は、あとは11月と1月しかありませんが、この2回もしっかり元気よくあいさつ運動をしていきたいと思います。

☆ 太宰府西小学校



☆ 水城西小学校



☆ 太宰府西中学校

